# 「第２次川崎市道路整備プログラム後期②の取組（案）」について御意見をお寄せください

川崎市では、幹線道路の効率的・効果的な整備推進を目的として、平成 28 年に「第２次川崎市道路整備プログラム」を策定し、計画的に整備を推進してきました。

本プログラムでは、平成 28 年度から令和３年度までの６年間を「前期」、令和４年度から令和７年度までの４年間を「後期①」、令和８年度から令和 11 年度までの４年間を「後期②」と位置づけています。

この度、後期①の進捗状況や社会経済状況の変化を踏まえ、引き続き、効率的・効果的な整備を推進するため、「第２次川崎市道路整備プログラム後期②の取組（案）」をとりまとめました。

つきましては、市民の皆様の御意見を募集します。

## １　意見募集の期間

令和７年 12 月 15 日（月）～令和８年１月 19 日（月）

※郵送の場合は、令和８年１月 19 日（月）の消印まで有効です。

## ２　意見の提出方法

住所、氏名（団体の場合は、名称及び代表者の氏名）及び連絡先（電話番号、住所又はメールアドレス）を明記の上、次のいずれかの方法によりお寄せください。

**（１）　意見提出フォーム**

川崎市ホームページの「意見公募（パブリックコメント）」にアクセスし、ホームページ上の案内に従って専用フォームメールを御利用ください。

**（２）　ファクシミリ**

ＦＡＸ番号：０４４（２００）３９７３

（川崎市建設緑政局総務部企画課）

**（３）　郵送先**

〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地　17 階　川崎市建設緑政局総務部企画課

**（４）持参先**

〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地　17 階　川崎市建設緑政局総務部企画課

**《注意事項》**

- 御意見に対する個別回答はいたしませんが、市の考え方を整理した結果を後日、市のホームページにて公表します。
- 個人情報については、提出された御意見の内容を確認する場合に利用し、個人情報の保護に関する法律その他の関連規定に基づき、厳重に保護、管理します。
- 電話や口頭での御意見の提出はできません。
- 持参時の提出時間は、開庁日の８時 30 分から 17 時 15 分（12 時から 13 時を除く）

## ３　資料の閲覧場所

各区役所市政資料コーナー、かわさき情報プラザ（川崎市役所本庁舎復元棟２階）、川崎市建設緑政局総務部企画課（川崎市役所本庁舎 17 階）、川崎市ホームページ

## ４　問い合わせ先

川崎市建設緑政局総務部企画課

電話：０４４（２００）２７８１　FAX 番号：０４４（２００）３９７３

E-mail: 53kikaku@city.kawasaki.jp

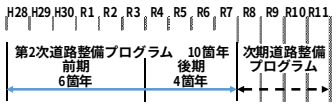
# 第2次川崎市道路整備プログラム後期②の取組（案）

## 1. 道路整備プログラムの目的と進行管理

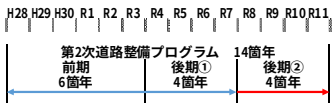
本市の幹線道路の整備は、**効率的・効果的な道路整備を推進していくため、平成28年度から令和３年度までの６年間を前期**、令和４年度から令和７年度までの４年間を後期として10年間を計画期間とした「第２次川崎市道路整備プログラム」に基づき、客観的な指標などを用いて整備効果の高い箇所を選定することにより、整備箇所の重点化を図りながら取組を進めてきました。

■計画期間

当初計画（平成27年度策定）




現計画（令和３年度策定）



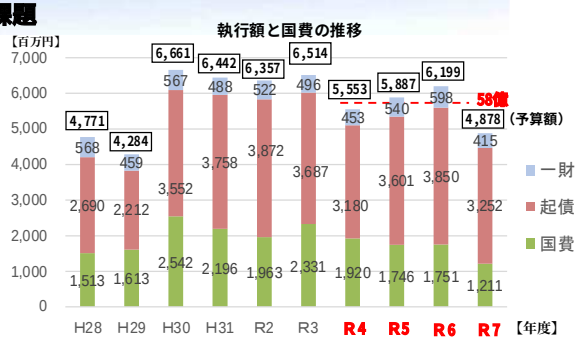

こうした中、前期（令和３年度まで）に完成目標としていた10工区のうち５工区が未完成となったことから、より一層の事業の重点化を図るため、令和７年度までの計画期間を４年延伸し、新規事業着手を予定していた５工区を令和８年度以降に先送りすることなどを定めた「第２次川崎市道路整備プログラム 後期の取組【R4～R11】」を令和４年２月にとりまとめ、**令和４年度から令和７年度までを後期①、令和８年度から令和11年度までを後期②と定め、取組を進めています。**

本プログラムは、川崎市総合計画の実施計画との連携を図るため、PDCAサイクルにより、**後期①が終了する令和７年度に、本プログラムに位置づけている39工区の進捗状況、取組の効果及び課題の整理を行い、**次期川崎市総合計画との整合を図りながら、**後期②の取組について、とりまとめます。**

## 2. 後期①（令和4年度～令和7年度）の進捗と課題

### （1）事業費（執行額）の推移

**後期①（R4～R6)の執行額は、平均約58億円で推移しています。事業費は、計画策定時**の平成27年度と令和６年度の市内（７区平均）における**地価**を比較すると、住宅地で約15%、商業地で約46%、**労務費**においては約31%**上昇するなど、財政負担が増加していることから、可能な限り国費等を活用し、事業を行っています。**




### （2）後期①の進捗状況

**ア 土地収用制度等活用路線（９工区）の進捗状況**

道路整備プログラムの土地収用制度等活用路線に位置づけた９工区の内、**後期①（R4～R7）を完成目標とした６工区において、苅宿小田中線（III期）、宮内新横浜線（子母口）、野川柿生線（王禅寺）の３工区が完成しており、世田谷町田線（片平）は令和７年度内に完成する見込み**です。

一方で、国道409号（市ノ坪）、丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）の**２工区については、**地権者との用地交渉等が難航し、**後期①での完成が難しい状況です。**

国道409号（市ノ坪）は、土地収用制度を活用し、今年度中に土地の明渡が完了する予定です。

丸子中山茅ヶ崎線（小杉御殿）においては、１つ１つの課題の解決を図りながら任意交渉を進めていましたが、土地収用制度の申請準備を進めています。

| 現計画 | 後期①の進捗状況 | 路線名 | 工区名 | 用地取得率 | | 工事状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 平成28年3月末 | 令和7年3月末 | |
| 前期完成済み（１工区） | | （主）川崎府中 | 枡形・生田 | 98% | 100% | 令和3年度完成 |
| 後期①完成目標（６工区） | 後期①完成済み（３工区） | （都）苅宿小田中線 | III期 | 94% | 99% | 令和6年度完成 |
| | | （都）宮内新横浜線 | 子母口 | 63% | 100% | 令和5年度完成 |
| | | （都）野川柿生線 | 王禅寺 | 83% | 100% | 令和6年度完成 |
| | 後期①完成見込み(１工区) | （都）世田谷町田線 | 片平 | 96% | 100% | 令和7年度完成見込み |
| | 後期②継続（２工区） | （国）国道409号 | 市ノ坪 | 89% | 100% | 後期②事業継続 |
| | | （都）丸子中山茅ヶ崎線 | 小杉御殿 | 85% | 91% | 後期②事業継続 |
| 現計画で後期②完成目標（２工区） | | （市）宮前6号線 | 野川 | 63% | 94% | 後期②事業継続 |
| | | （主）横浜生田 | 東三田 | 79% | 79% | 後期②事業継続 |

**イ 整備推進路線（30工区）の進捗状況**

**後期①を完成目標とした５工区の内、東京丸子横浜線（市ノ坪）、世田谷町田線（上麻生Ⅰ期）の２工区が令和７年度内に完成する見込み**です。(3,24)

一方、宮内新横浜線（等々力大橋）※は、工事施工方法の変更や東京都側の用地取得状況による工事工程の再設定により、令和５年度に工期を令和12年度末まで延伸しています。(11)　※東京都施行

横浜生田線（水沢）は、早期の工事着手に向けて、横浜市との調整を進めています。(18)

尻手黒川線（IV期）は、施工方法の見直し等により、令和７年度の完成が遅れる見込みです。(23)

以上、**３工区の完成が難しい状況です。**

| 区別 | No. | 路線名 | 工区名 | 用地取得率 | | 現計画完成目標年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 平成28年3月末 | 令和7年3月末 | |
| 川崎 | 1 | （都）川崎駅扇町線 | 扇町跨線橋 | ー | ー | (R8～R11着手) |
| 幸 | 2 | （県）川崎町田 | 末吉橋 | ー | 100% | R8～R11 |
| 中原 | 3 | （都）東京丸子横浜線 | 市ノ坪 | 99% | 100% | R4～R7 |
| | 4 | （都）苅宿小田中線 | Ⅰ期 | H28年度　完成 | | |
| | 5 | （国）国道409号 | 小杉 | 39% | 75% | R8～R11 |
| | 6 | （国）国道409号 | 小杉御殿町Ⅰ期 | 31% | 39% | R8～R11 |
| | 7 | （国）国道409号 | 小杉御殿町Ⅱ期 | 27% | 74% | 継続 |
| | 8 | （国）国道409号 | 宮内 | ー | ー | (R8～R11着手) |
| | 9 | （国）国道409号 | 下野毛 | ー | ー | (R8～R11着手) |
| | 10 | （都）宮内新横浜線 | 宮内 | 36% | 60% | 継続 |
| | 11 | （市）宮内新横浜線 | 等々力大橋 | ー | ー | R4～R7 |
| 高津 | 12 | 溝口駅南口駅前広場 | | H28年度　完成 | | |
| | 13 | （都）野川柿生線 | 久本 | 25% | 48% | R8～R11 |
| | 14 | （都）丸子中山茅ヶ崎線 | 蟻山坂 | R3年度　完成 | | |
| | 15 | （都）溝ノ口線 | | 0% | 3% | 継続 |
| | 16 | （国）国道409号 | 北見方 | 4% | 26% | 継続 |
| | 17 | （主）丸子中山茅ヶ崎 | 野川（高津） | ー | 0% | R8～R11 |
| 宮前 | 18 | （市）横浜生田線 | 水沢 | 72% | 100% | R4～R7 |
| 多摩 | 19 | （都）世田谷町田線 | 登戸 | 100% | 100% | R8～R11 |
| | 20 | （都）登戸２号線 | 多摩沿線 | R3年度　完成 | | |
| | 21 | （都）世田谷町田線 | 生田 | ー | ー | (R8～R11着手) |
| 麻生 | 22 | （都）柿生町田線 | 柿生駅南口 | 57% | 76% | R8～R11 |
| | 23 | （都）尻手黒川線 | IV期 | 90% | 99% | R4～R7 |
| | 24 | （都）世田谷町田線 | 上麻生Ⅰ期 | 95% | 100% | R4～R7 |
| | 25 | （都）世田谷町田線 | 上麻生Ⅱ期 | ー | 31% | 継続 |
| | 26 | （都）菅早野線 | 下麻生 | 70% | 99% | R8～R11 |
| | 27 | （主）横浜上麻生 | 柿生陸橋 | 52% | 96% | 継続 |
| | 28 | （主）横浜上麻生 | 下麻生 | 64% | 79% | 継続 |
| | 29 | （主）町田調布 | 黒川 | ー | ー | R8～R11 |
| | 30 | （主）町田調布 | 市境 | ー | ー | (R8～R11着手) |

凡例
（国）：国道
（都）：都市計画道路
（主）：主要地方道
（県）：県道
（市）：市道
R7完成見込み
R7完成困難

ウ 後期①の進捗状況のまとめ

① 進捗状況

後期①を完成目標としていた１１工区のうち、世田谷町田線（片平）など６工区が完成（見込み含む）しました。

一方、国道409号（市ノ坪）など５工区が用地交渉の難航等により未完成となり、後期①から後期②へ継続となりました。

② 取組の効果

６工区の完成などにより、移動性や安全性の向上などを図りました。

| 進捗状況まとめ | 路線名 | 工区名 |
|---|---|---|
| 後期①完成（６工区）（見込み含む） | （都）苅宿小田中線 | III期 |
| | （都）宮内新横浜線 | 子母口 |
| | （都）世田谷町田線 | 片平 |
| | （都）野川柿生線 | 王禅寺 |
| | （都）東京丸子横浜線 | 市ノ坪 |
| | （都）世田谷町田線 | 上麻生Ｉ期 |
| 後期②継続（５工区） | （国）国道409号 | 市ノ坪 |
| | （都）丸子中山茅ヶ崎線 | 小杉御殿 |
| | （市）宮内新横浜線 | 等々力大橋 |
| | （市）横浜生田線 | 水沢 |
| | （都）尻手黒川線 | IV期 |

■整備完成事例　宮内新横浜線（子母口）

## （３）課題

- 土地収用制度等活用路線については、多くの工区で、関係地権者から生活再建のための移転先の確保や補償額などの合意形成を得られないことなどにより、用地交渉の長期化が生じていましたが、粘り強い交渉の継続や土地収用制度等の活用により、用地取得の進捗が図られ、後期①において新たに３工区の整備が完了し、１工区が令和７年度内に完成する見込みです。一方で、２工区において後期①の完成が困難であることから、引き続き、土地収用制度等を積極的に活用していく必要があります。
- 整備推進路線については、用地交渉の長期化や施工方法の見直しなどにより、後期①を完成目標としている３工区に遅れが生じていることから、後期②では現計画より多くの事業箇所に取り組むこととなるため、効率的・効果的に道路整備を進める必要があります。
- 令和３年７月に国が、平常時・災害時及び物流の観点を踏まえ、広域道路ネットワークを構築するため、「新広域道路交通計画」を策定しました。同計画において、主要な都市間を連絡する重要な路線である「一般広域道路」として国道409号、世田谷町田線、尻手黒川線が位置づけられたことから、対象の３路線について、整備を推進していく必要があります。

# 3．後期②（令和8年度～令和11年度）の取組

## （１）事業推進に向けて

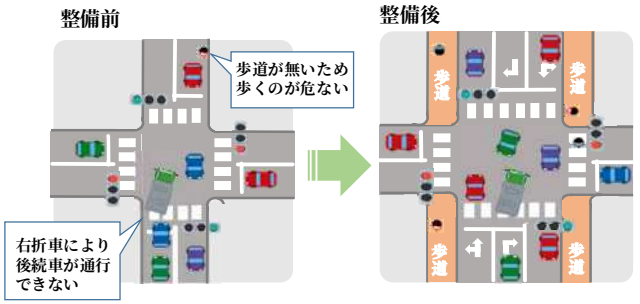
- 土地収用制度等活用路線については、引き続き、土地収用制度等を積極的に活用するため、任意交渉からの移行の見極め等を適切に行いながら事業を進めます。
- 本プログラムに基づく道路整備では、財政負担の増加に対応するため、新規工区を含めた事業スケジュールを調整し、事業中の工区へ予算を集中的に投資するなど、より一層の重点化を図るとともに、事業効果を早期に発現させるため、主要交差点等の先行整備を行うなど、効率的・効果的に進めます。
- 「新広域道路交通計画」において、「一般広域道路」として位置づけられた３路線のうち、国道409号、尻手黒川線については、概ね事業化されていることから、本プログラムに位置づけのある工区の整備を着実に推進するとともに、世田谷町田線については、後期②での生田工区の着手に加え、生田駅付近から百合丘駅付近の未着手区間が、隣接する小田急線の複々線化計画と連携を図る必要があることから、本プログラムに位置づけのない区間の課題整理及び整備方針について検討します。
- 上記の他、道路整備は用地取得など長期間を要することから、限られた財源で最大の効果を早期に発現させるため、これまでに培ったノウハウを活用して、局所的・即効的な対策である交差点等の渋滞対策との連携を強化し、取組を推進します。

## （２）後期②の基本的な考え方

後期①の進捗状況や課題等を踏まえ、後期②の基本的な考え方を次のとおり整理しました。

- 後期①を完成目標としていた５工区が後期②に継続となることや、関連事業である連続立体交差事業の推進などにより、一層の重点化を図る必要があるため、新規工区の着手時期を含めた事業スケジュールの調整により、事業中の工区へ予算を集中的に投資するとともに、土地収用制度等を積極的に活用し、早期完成を目指します
- 事業効果の早期発現のため、主要交差点などの先行整備を目指します

■先行整備イメージ




【先行整備実例】

国道409号（小杉御殿町交差点）右左折レーンの新設

## （３）後期②の取組

ア　事業の遅延が見込まれる路線への対応

後期②については、後期①の進捗状況や後期②の基本的な考え方に基づき、新規工区の着手時期を見極めながら、事業中の工区へ予算を集中投資するなどにより重点化を図ります。

また、財政の収支見通しにより実効性を踏まえた計画とした結果、後期②完成目標の11工区と後期①から後期②へ継続となった５工区を合わせた16工区のうち７工区が完成、９工区が未完成の見込みとなります。

なお、用地の取得状況等により、土地収用制度等の積極的な活用を図り、早期完成を目指します。

| 進捗状況等 | 後期②の取組 | 区別 | 路線名 | 工区名 |
|---|---|---|---|---|
| 後期①から後期②に継続（５工区） | 後期②完成見込み（２工区） | 宮前 | （市）横浜生田線 | 水沢 |
| | | 麻生 | （都）尻手黒川線 | IV期 |
| | 後期②未完成見込み（３工区） | 中原 | （国）国道409号 | 市ノ坪 |
| | | | （都）丸子中山茅ヶ崎線 | 小杉御殿 |
| | | | （市）宮内新横浜線 | 等々力大橋 |
| 後期②完成目標（11工区） | 後期②完成見込み（5工区） | 宮前 | （市）宮前6号線 | 野川 |
| | | 幸 | （県）川崎町田 | 末吉橋 |
| | | 多摩 | （都）世田谷町田線 | 登戸 |
| | | 麻生 | （都）柿生町田線 | 柿生駅南口 |
| | | | （都）菅早野線 | 下麻生 |
| | 後期②未完成見込み（６工区） | 多摩 | （主）横浜生田 | 東三田 |
| | | 中原 | （国）国道409号 | 小杉 |
| | | | （国）国道409号 | 小杉御殿町Ｉ期 |
| | | 高津 | （都）野川柿生線 | 久本 |
| | | | （主）丸子中山茅ヶ崎 | 野川（高津） |
| | | 麻生 | （主）町田調布 | 黒川 |

### イ　着手路線の取扱い

後期①から後期②へ５工区が継続となることに加え、９工区が令和11年度までに未完成の見込みとなることから、本プログラム全体の進捗状況などを踏まえて、着手を目指します。

| 後期②の取組 | 区別 | 路線名 | 工区名 |
|---|---|---|---|
| 着手 | 川崎 | （都）川崎駅扇町線<br>（（県）扇町川崎停車場） | 扇町跨線橋 |
| 着手 | 中原 | （国）国道409号 | 宮内 |
| 着手 | | （国）国道409号 | 下野毛 |
| 着手 | 多摩 | （都）世田谷町田線 | 生田 |
| 着手 | 麻生 | （主）町田調布 | 市境 |

### ウ　調整路線の取扱い

苅宿小田中線（Ⅱ期）及び丸子中山茅ヶ崎線（野川・宮前）は、隣接区間の整備状況などを踏まえ、着手時期について検討する「調整路線」に位置づけています。

苅宿小田中線（Ⅱ期）については、Ⅰ期が平成28年度に完成し、Ⅲ期が令和６年に完成しました。

しかしながら、後期①から後期②へ継続となった５工区の遅れなどにより、現在整備を進めている路線全体の整備状況を踏まえ、まずは、後期②の着手を予定している５工区の着手を目指すことから、引き続き調整路線とします。

また、丸子中山茅ヶ崎線（野川・宮前）においては、近接する丸子中山茅ヶ崎線（野川・高津）が整備中であることから、同様に調整路線とします。

| 後期②の取組 | No | 区別 | 路線名 | 工区名 |
|---|---|---|---|---|
| 調整路線 | ア | 中原 | 苅宿小田中線 | Ⅱ期 |
| 調整路線 | イ | 宮前 | 丸子中山茅ヶ崎線 | 野川（宮前） |

### エ　関連事業等

関連事業等の進捗状況及び今後の取組についてとりまとめました。

| No | 区別 | 路線名 | 備考 | 計画<br>(R4～R7) | 後期①進捗<br>(R4～R7) | 後期②取組<br>(R8～R11) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【連続立体交差事業関係】 | | | | | | |
| a | 川崎 | 京浜急行大師線連続立体交差事業 | 小島新田駅～東門前駅 | 完成 | 完成 | |
| b | | | 東門前駅～川崎大師駅(鈴木町すり付け) | → | → | → |
| c | 幸・中原 | ＪＲ南武線連続立体交差事業 | 尻手(矢向)駅～武蔵小杉駅 | 着手 | 着手 | → |
| d | 幸 | （都）塚越南加瀬線 | JR南武線<br>連続立体交差事業関係 | 着手 | 着手 | → |
| e | 幸・中原 | （都）大田神奈川線 | | 着手 | 着手 | → |
| f | | （都）矢向鹿島田線 | | 着手 | 着手 | → |
| 【首都圏の機能強化に関する広域的事業関係】 | | | | | | |
| g | 川崎 | 羽田連絡道路 | 全線 | R3完成 | | |
| h | | 川崎縦貫道路（Ｉ期） | 大師JCT～国道１５号 | → | → | → |
| i | | 川崎臨港道路東扇島水江町線 | 東扇島～水江町（ONランプを除く） | 完成 | → | 完成 |
| j | | 国道３５７号 | 羽田空港～浮島 | → | → | → |
| k | | 国道４０９号 | 殿町～国道１５号 | → | → | → |
| l | | （都）浮島町線 | 国道３５７号整備事業 | 着手 | 着手 | → |
| m | | （都）大師駅前線 | 国道４０９号整備事業 | → | → | → |
| n | | 高速湾岸線 | 首都高扇島出入口（仮称） | | | ※1 |
| o | | 国道３５７号 | 扇島（一部区間） | | | ※2 |
| | | （市）扇島１号線他 | 扇島　臨海部大規模土地利用推進事業 | | | 着手・完成 |
| 【その他の事業関係】 | | | | | | |
| p | 川崎 | （都）富士見鶴見駅線 | 防災市街地整備促進事業等 | 事業化検討 | 事業化検討 | 一部暫定整備 |
| q | 多摩 | （都）登戸1号線 | 登戸土地区画整理事業 | 完成 | R6完成 | |
| r | | （都）登戸2号線 | | 完成 | R5完成 | |
| s | | （都）登戸3号線 | | R3完成 | | |
| t | | （都）登戸野川線 | | 完成 | R6完成 | |
| u | | （都）登戸駅線 | | 完成 | R6完成 | |

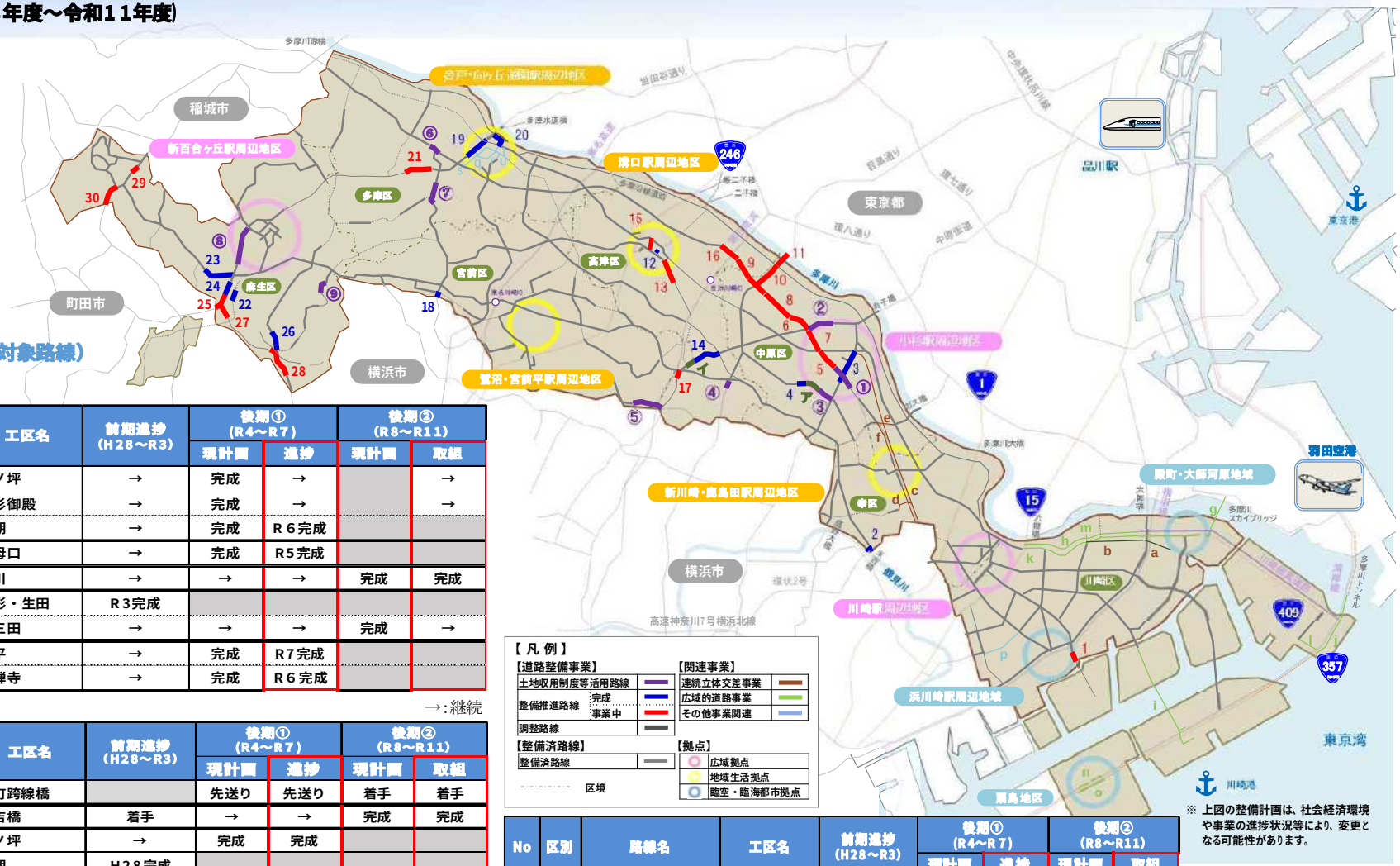
※1 早期事業化に向けて関係機関と協議中
※2 国と一部区間の早期整備に向けた協議中

### （４）成果指標について

成果指標については、（３）後期②の取組に基づき、令和12年度以降に９工区が事業継続になることを踏まえ、令和11年度の目標値を見直します。

| | 評価の視点 | | 成果指標 | 計画策定時（平成２８年度） | 令和１１年度目標値（当初） | 現在値（令和６年度末） | 令和１１年度目標値（見直し） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 活力 | -1 | 渋滞時平均走行速度（渋滞時の走行性向上） | 16.9km/h<br>※H22年度全国道路・街路交通情勢調査 | 17.8km/h | 14.9km/h<br>※R3年度全国道路・街路交通情勢調査 | 17.6km/h |
| | | -2 | 都市計画道路進捗率（ネットワークの強化） | 68%<br>※H26年度末 | 71% | 68%<br>（完成延長：210,9km） | 70%<br>（完成見込延長：215,6km） |
| | | -3 | 拠点地区内の幹線道路整備率（拠点周辺の利便性向上） | 川崎駅 100%<br>小杉駅 66%<br>溝口駅 71%<br>登戸駅 58%<br>新百合ヶ丘駅 86%<br>※H26年度末 | 川崎駅 100%<br>小杉駅 93%<br>溝口駅 81%<br>登戸駅 100%<br>新百合ヶ丘駅 95% | 川崎駅 100%<br>小杉駅 71%<br>溝口駅 71%<br>登戸駅 89%<br>新百合ヶ丘駅 86% | 川崎駅 100%<br>小杉駅 74%<br>溝口駅 71%<br>登戸駅 98%<br>新百合ヶ丘駅 95% |
| | | -4 | 駅前広場の整備箇所数（駅利用の利便性向上） | 12広場<br>/17広場<br>※H26年度末 | 16広場<br>/17広場 | 13広場<br>/17広場 | 15広場<br>/17広場 |
| | | -5 | 交通結節点への都市計画道路進捗率（広域拠点の機能強化） | 川崎駅 87%<br>小杉駅 86%<br>新百合ヶ丘駅 71%<br>※H26年度末 | 川崎駅 89%<br>小杉駅 89%<br>新百合ヶ丘駅 78% | 川崎駅 87%<br>小杉駅 86%<br>新百合ヶ丘駅 71% | 川崎駅 89%<br>小杉駅 89%<br>新百合ヶ丘駅 78% |
| 2 | 安全安心 | -1 | 事故件数（安全性の向上） | 1,208件<br>※H22～25年の平均 | 約1,150件<br>（５%削減） | 1,280件<br>※令和5年度 | 約1,150件 |
| | | -2 | 緊急輸送路の整備率（災害時の対応力強化） | 84%<br>※H26年度末 | 88% | 84% | 86% |
| | | -3 | 災害拠点病院アクセス路線の整備率（救命救急活動の支援強化） | 70%<br>※H26年度末 | 79% | 75% | 76% |
| | | -4 | 無電柱化延長（都市の防災性強化） | 48km<br>※H26年度末 | 事業着手の段階で関係機関と調整を図り決定するため、未設定 | 62km | 事業着手の段階で関係機関と調整を図り決定するため、未設定 |
| 3 | 環境魅力 | -1 | 低騒音舗装の整備延長（沿道環境の改善） | 97km<br>（36%）<br>※H26年度末 | 116km<br>（44%） | 102km<br>（38%） | 113km<br>（42%） |
| | | -2 | 道路緑化延長（都市緑化の推進） | 102km<br>（56%）<br>※H26年度末 | 109km<br>（59%） | 103km<br>（56%） | 105km<br>（58%） |
| | | -3 | 拠点駅周辺のバス路線の整備率（公共交通の利便性向上） | 79%<br>※H26年度末 | 89% | 80% | 82% |

# 変更整備計画（案）　（平成２８年度～令和１１年度）




※ 上図の整備計画は、社会経済環境や事業の進捗状況等により、変更となる可能性があります。

## 道路整備一覧表（プログラム対象路線）

### ■土地収用制度等活用路線

| No | 区別 | 路線名 | 工区名 | 前期進捗（H28～R3） | 後期①（R4～R7） | | 後期②（R8～R11） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 現計画 | 進捗 | 現計画 | 取組 |
| ① | 中原 | (国)国道４０９号 | 市ノ坪 | → | 完成 | → | | → |
| ② | | (都)丸子中山茅ヶ崎線 | 小杉御殿 | → | 完成 | → | | → |
| ③ | | (都)苅宿小田中線 | Ⅲ期 | → | 完成 | R６完成 | | |
| ④ | 高津 | (都)宮内新横浜線 | 子母口 | → | 完成 | R5完成 | | |
| ⑤ | 宮前 | (市)宮前６号線 | 野川 | → | → | → | 完成 | 完成 |
| ⑥ | 多摩 | (主)川崎府中 | 枡形・生田 | R３完成 | | | | |
| ⑦ | | (主)横浜生田 | 東三田 | → | → | → | 完成 | → |
| ⑧ | 麻生 | (都)世田谷町田線 | 片平 | → | 完成 | R７完成 | | |
| ⑨ | | (都)野川柿生線 | 王禅寺 | → | 完成 | R６完成 | | |

### ■整備推進路線

→：継続

| No | 区別 | 路線名 | 工区名 | 前期進捗（H28～R3） | 後期①（R4～R7） | | 後期②（R8～R11） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 現計画 | 進捗 | 現計画 | 取組 |
| 1 | 川崎 | (都)川崎駅扇町線 | 扇町跨線橋 | | 先送り | 先送り | 着手 | 着手 |
| 2 | 幸 | (県)川崎町田 | 末吉橋 | 着手 | → | → | 完成 | 完成 |
| 3 | 中原 | (都)東京丸子横浜線 | 市ノ坪 | → | 完成 | 完成 | | |
| 4 | | (都)苅宿小田中線 | Ⅰ期 | H２８完成 | | | | |
| 5 | | (国)国道４０９号 | 小杉 | → | → | → | 完成 | → |
| 6 | | (国)国道４０９号 | 小杉御殿町Ⅰ期 | → | → | → | 完成 | → |
| 7 | | (国)国道４０９号 | 小杉御殿町Ⅱ期 | → | → | → | → | → |
| 8 | | (国)国道４０９号 | 宮内 | | 先送り | 先送り | 着手 | 着手 |
| 9 | | (国)国道４０９号 | 下野毛 | | 先送り | 先送り | 着手 | 着手 |
| 10 | | (都)宮内新横浜線 | 宮内 | → | → | → | → | → |
| 11 | | (市)宮内新横浜線 | 等々力大橋 | → | 完成 | → | | → |
| 12 | 高津 | 溝口駅南口駅前広場 | | H２８完成 | | | | |
| 13 | | (都)野川柿生線 | 久本 | → | → | → | 完成 | → |
| 14 | | (都)丸子中山茅ヶ崎線 | 蟻山坂 | R３完成 | | | | |
| 15 | | (都)溝ノ口線 | | → | → | → | → | → |
| 16 | | (国)国道４０９号 | 北見方 | → | → | → | → | → |
| 17 | | (主)丸子中山茅ヶ崎 | 野川(高津) | 着手 | → | → | 完成 | → |
| 18 | 宮前 | (市)横浜生田線 | 水沢 | 着手 | 完成 | → | | 完成 |
| 19 | 多摩 | (都)世田谷町田線 | 登戸 | → | → | → | 完成 | 完成※ |
| 20 | | (都)登戸2号線 | 多摩沿線 | R3完成 | | | | |
| 21 | | (都)世田谷町田線 | 生田 | | 先送り | 先送り | 着手 | 着手 |
| 22 | 麻生 | (都)柿生町田線 | 柿生駅南口 | → | → | → | 完成 | 完成 |
| 23 | | (都)尻手黒川線 | Ⅳ期 | → | 完成 | → | | 完成 |
| 24 | | (都)世田谷町田線 | 上麻生Ⅰ期 | → | 完成 | 完成 | | |
| 25 | | (都)世田谷町田線 | 上麻生Ⅱ期 | → | → | → | → | → |
| 26 | | (都)菅早野線 | 下麻生 | → | → | → | 完成 | 完成 |
| 27 | | (主)横浜上麻生 | 柿生陸橋 | → | → | → | → | → |
| 28 | | (主)横浜上麻生 | 下麻生 | → | → | → | → | → |
| 29 | | (主)町田調布 | 黒川 | → | → | → | 完成 | → |
| 30 | | (主)町田調布 | 市境 | | 先送り | 先送り | 着手 | 着手 |

※ 工法の検討結果により完成時期の見直し検討

### ■調整路線

| No | 区別 | 路線名 | 工区名 |
|---|---|---|---|
| ア | 中原 | 苅宿小田中線 | Ⅱ期 |
| イ | 宮前 | 丸子中山茅ヶ崎線 | 野川（宮前） |

路線名は事業種別を表します。
（都）〇〇線は「街路事業」、
（国）（主）（県）（市）〇〇線は「道路事業」に該当します。